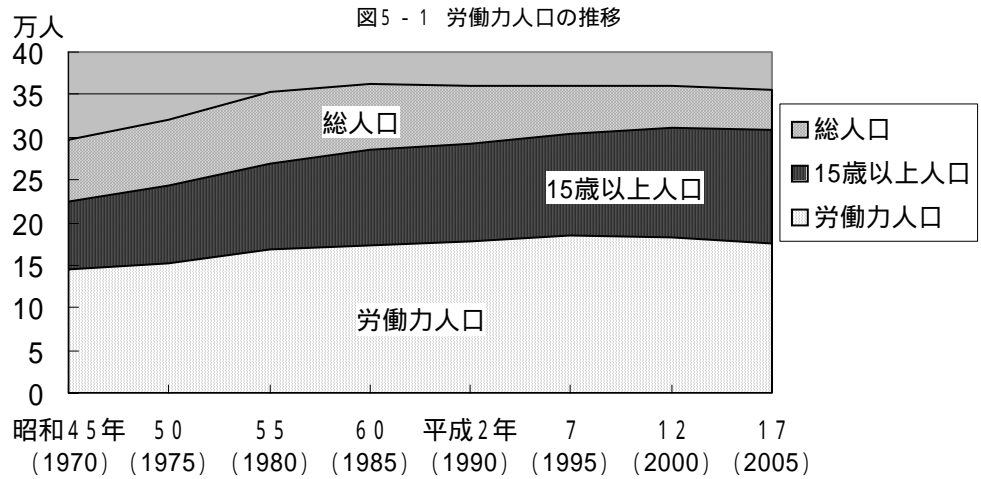


5 労働力人口

(1) 労働力状態

～ 労働力率は56.9%、完全失業率は7.38% ～

15歳以上人口について平成17年9月24日から30日までの1週間の労働力状態をみると、就業者は162,138人、完全失業者は12,922人で、この両者を合わせた労働力人口は175,060人となり、15歳以上人口に占める割合



(労働力率)は56.9%となっている。また、完全失業率(労働力人口に占める完全失業者の割合)は7.38%となっており前回の結果と比べ1.97ポイント悪化している。

一方、経済活動に従事していない非労働力人口(家事従事者、通学者、高齢者等)は127,959人で15歳以上人口の41.6%を占めている。

次に、15歳以上の労働力人口を男女別にみると、男性の労働力人口は99,318人で労働力率は70.3%、女性は75,742人で労働力率45.5%となっている。このうち、就業者は男性が91,391人、女性が70,747人である。

また、非労働力人口は男性が38,906人、女性89,053人で15歳以上に占める割合は、男性27.5%に対し女性が53.5%を占め、男性と比較して2倍弱のひらきが出る結果となった。

(表5-1)

表5-1 労働力状態，男女別15歳以上人口

単位：人

労働力状態	性別	平成12年(2000)		17年(2005)		増減率
		15歳以上人口	割合	15歳以上人口	割合	
総数		310,683	100.0	307,641	100.0	1.0
労働力人口		181,879	58.5	175,060	56.9	3.7
就業者		172,038	55.4	162,138	52.7	5.8
完全失業者		9,841	3.2	12,922	4.2	31.3
非労働力人口		125,173	40.3	127,959	41.6	2.2
<hr/>						
労働力人口	男	144,402	100.0	141,269	100.0	2.2
就業者	男	99,778	69.1	91,391	64.7	8.4
完全失業者	男	5,755	4.0	7,927	5.6	37.7
非労働力人口	男	36,416	25.2	38,906	27.5	6.8
<hr/>						
労働力人口	女	166,281	100.0	166,372	100.0	0.1
就業者	女	72,260	43.5	70,747	42.5	2.1
完全失業者	女	4,086	2.5	4,995	3.0	22.2
非労働力人口	女	88,757	53.4	89,053	53.5	0.3

注) 労働力状態「不詳」を含む。

～ 労働力人口総数が減少傾向 ～

労働力人口の総数の推移をみると、昭和45年から平成7年まで一貫して増加していたが、平成12年より減少傾向に転じた。これは、高度経済成長をみた昭和45年代とそれ以降の持続的な経済成長を背景として堅調に増加していたが、近年の急速な少子高齢化社会における15歳から65歳までの生産年齢人口の減少が原因のひとつといえる。少子高齢化の進行により労働力人口の減少圧力は一層強まると考えられる。(表5-2, 5-3)

表5-2 労働力人口及び15歳以上人口の増減率の推移

単位：%

年次	総数		男		女	
	15歳以上人口	労働力人口	15歳以上人口	労働力人口	15歳以上人口	労働力人口
昭和45～50年	7.6	4.5	6.6	6.5	8.6	1.0
50～55年	11.5	10.9	11.7	9.5	11.3	13.5
55～60年	5.6	3.6	4.5	1.2	6.6	7.7
60～平成2年	3.0	1.7	1.7	1.9	4.1	7.8
2～7年	4.0	4.8	3.6	3.3	4.3	7.1
7～12年	1.8	2.0	1.5	4.1	2.1	1.0
12～17年	1.0	3.7	2.2	5.9	0.1	0.8

表5-3 労働力人口の推移

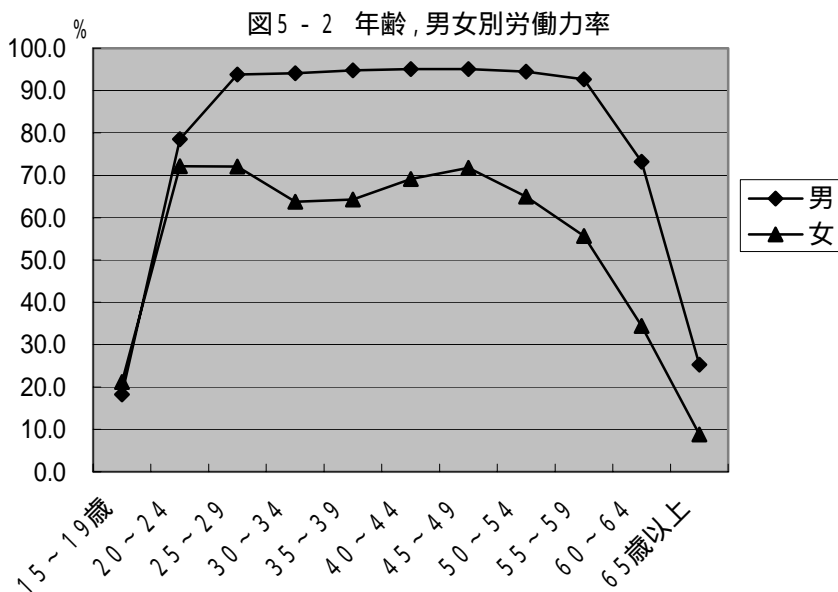
単位：人

年次	総数			男			女		
	総人口	15歳以上人口	労働力人口	総人口	15歳以上人口	労働力人口	総人口	15歳以上人口	労働力人口
昭和45年 (1970)	297,189	224,967	145,042	145,258	108,503	91,997	151,931	116,464	53,045
50(1975)	320,526	242,157	151,534	155,555	115,691	97,972	164,971	126,466	53,562
55(1980)	352,619	269,974	168,078	171,435	129,227	107,291	181,184	140,747	60,787
60(1985)	363,631	284,999	174,052	175,268	134,992	108,574	188,363	150,007	65,478
平成2年 (1990)	359,071	293,452	177,050	171,182	137,292	106,468	187,889	156,160	70,582
7(1995)	360,568	305,140	185,626	170,759	142,277	110,004	189,809	162,863	75,622
12(2000)	359,536	310,683	181,879	169,465	144,402	105,533	190,071	166,281	76,346
17(2005)	355,004	307,641	175,060	165,387	141,269	99,318	189,617	166,372	75,742

(2) 年齢階級別労働力率

～ 男性は単峰型，女性はM字型 ～

年齢5歳階級別労働力率を男女別にみると，男性は「通学」の割合が多い15～19歳で18.2%と最も低く，これに続く20～24歳で78.5%，25～29歳では93.8%と上昇し，以降59歳までは90%以上の高い割合を占めている。60歳を越えると労働力率は低下に転ずるものの，60～64歳で73.2%，65歳以上の高齢者でも25.3%と4人に1人は経済活動を続けている結果となっている。



一方，女性の労働力率は15～19歳の21.2%から20～24歳の72.2%へと急上昇し，全年齢階級中最も高い割合となっている。また，25～39歳の年齢では結婚，出産，育児等のために，その間は経済活動から離れることから，労働力率が低下するが，前回平成12年と比べると低下の割合が小さくなっている。その後，35歳から再び労働力率が上昇し始め，45～49歳で第2のピークを迎え，71.8%となっており，この傾向は昭和40年代からみられる女性労働力率の特徴となっている。(図5-2，表5-4)

表5-4 年齢，男女別労働人口，労働力率

単位：人，%

年齢	男			女		
	15歳以上人口	労働力人口	労働力率	15歳以上人口	労働力人口	労働力率
総数	141,269	99,318	70.3	166,372	75,742	45.5
15～19歳	8,856	1,611	18.2	8,588	1,824	21.2
20～24	8,416	6,606	78.5	9,310	6,726	72.2
25～29	10,105	9,481	93.8	10,740	7,748	72.1
30～34	11,307	10,642	94.1	12,430	7,933	63.8
35～39	9,899	9,389	94.8	11,637	7,488	64.3
40～44	9,836	9,355	95.1	11,566	7,997	69.1
45～49	10,304	9,795	95.1	11,776	8,457	71.8
50～54	12,575	11,889	94.5	14,431	9,381	65.0
55～59	14,465	13,413	92.7	16,804	9,365	55.7
60～64	11,744	8,598	73.2	14,071	4,847	34.4
65歳以上	33,762	8,539	25.3	45,019	3,976	8.8

(3) 就業状態

～ 「完全失業者」は5年前に比べて31.3%増加 ～

労働力人口を就業状態で男女別にみると、男性は就業者が91,391人で、労働力人口の92.0%（就業者率）を占め、完全失業者が7,927人で、労働力人口の8.0%（完全失業率）を占めている。

一方、女性は就業者が70,747人（93.4%）、完全失業者が4,995人（6.6%）となっている。

次に、就業者率の内訳を男女別に比較してみると、「主に仕事」は男性が89.0%であるのに対し、女性が62.4%と大きく男性を下回っており、逆に「従に仕事」は男性がわずかに2.0%に対し、女性は29.8%と大幅に男性を上回り、家事などを行いながらの就業が大きな比重を占めているといえる。（表5-5）

表5-5 就業状態，男女別労働力人口
単位：人，%

男 女 就業状態	平成12年(2000)		17年(2005)		増減率
	労働力人口	割合	労働力人口	割合	
総数	181,879	100.0	175,060	100.0	3.7
就業者	172,038	94.6	162,138	92.6	5.8
主に仕事	147,162	80.9	135,633	77.5	7.8
従に仕事	23,256	12.8	24,563	14.0	5.6
休業者	1,620	0.9	1,942	1.1	19.9
完全失業者	9,841	5.4	12,922	7.4	31.3
男	105,533	100.0	99,318	100.0	5.9
就業者	99,778	94.5	91,391	92.0	8.4
主に仕事	96,952	91.9	88,344	89.0	8.9
従に仕事	1,911	1.8	2,025	2.0	6.0
休業者	915	0.9	1,022	1.0	11.7
完全失業者	5,755	5.5	7,927	8.0	37.7
女	76,346	100.0	75,742	100.0	0.8
就業者	72,260	94.6	70,747	93.4	2.1
主に仕事	50,210	65.8	47,289	62.4	5.8
従に仕事	21,345	28.0	22,538	29.8	5.6
休業者	705	0.9	920	1.2	30.5
完全失業者	4,086	5.4	4,995	6.6	22.2

注)「従に仕事」とは、「家事のほかの仕事」と「通学のかたわら仕事」が含まれる。

(4) 非労働力人口

～ 女性は「家事」が約6割を占める ～

15歳以上非労働力人口を非労働力の種類別にみると、男性は非労働力人口38,906人のうち、病気や高齢者などの「その他」の者が28,589人（非労働力人口の73.5%）、「通学」していた者8,505人（同21.9%）、「家事」に従事していた者は1,812人（同4.7%）となっている。これに対して、女性は非労働力人口89,053人のうち、「家事」が52,312人（同58.7%）、「その他」が28,868人（同32.4%）、「通学」が7,873人（同8.8%）となっている。

前回平成12年結果と比べると、「その他」が41.6%増となり、近年の雇用情勢の影響と高齢者の増加によるものと考えられる。（表5-6）

表5-6 非労働力の種類，男女別非労働力人口
単位：人，%

男 女 非 労働力の 種類	平成12年(2000)		17年(2005)		増減率
	非労働力人口	割合	非労働力人口	割合	
総数	125,173	100.0	127,959	100.0	2.2
家事	64,834	51.8	54,124	42.3	16.5
通学	19,762	15.8	16,378	12.8	17.1
その他	40,577	32.4	57,457	44.9	41.6
男	36,416	100.0	38,906	100.0	6.8
家事	2,815	7.7	1,812	4.7	35.6
通学	10,324	28.4	8,505	21.9	17.6
その他	23,277	63.9	28,589	73.5	22.8
女	88,757	100.0	89,053	100.0	0.3
家事	62,019	69.9	52,312	58.7	15.7
通学	9,438	10.6	7,873	8.8	16.6
その他	17,300	19.5	28,868	32.4	66.9